

琉球大学学術リポジトリ

復帰準備（対内）（政府調査団派遣等）－総理府、
運輸省、海上保安庁他－(2)

メタデータ	言語: 出版者: 公開日: 2019-01-29 キーワード (Ja): 復帰準備 キーワード (En): 作成者: - メールアドレス: 所属:
URL	http://hdl.handle.net/20.500.12000/43391

敬
察
方

アメリカ局長

参事官

北米第一課長

警察庁調査団の訪沖

25.2.20
米北1

警察庁が来り3月5日 沖縄の交通方式
及び警察装備等の格差是正に重点を置く

調査団に沖縄に派遣する記事(別添
時事(参考))に用い、警察庁沖縄対策

室に照会したところ、次のとおり。即答す。

記

1. 別添記事の内容は承知してまいり、
来り3月5日付の1箇内を予定し、
勝田官房総務課長に
(中根警視正を団長とする)5名の警察庁
職員を構成して調査団を派遣す。

2. 本件調査団は課長補佐2名を

GA 6

外務省

① 本件
係属
の
3
月
5
日
付
の
内

もつて構成す。交通方式及び沖縄の
警察装備等につき、基礎資料の蒐集に

当りしことあり、政事につき検討すこと
概略のしるすことあり。

3. 派遣費用は特選局、技術援助費の
支出す。現在滞航手続を進めしむ。

GA 6

外務省

① 本土地主の沖繩警察本部に本牌

「沖繩警察本部が五月、本土地主の沖繩

警察本部に本牌を渡すため三月五日、同庁給

付原課長、中根三郎警視正を団長とする

「オニ次沖繩対策調査団」を派遣すること

になった。調査団は(一)米國方式の右側通行が

採用されている自動車の道路通行方式を本土

並みの左側通行に切り替える、(二)沖繩警察の

施設、装備の格差是正一を重点に調査、その

結果を中絶復帰対策協議会に報告する。

警察本部が沖繩の本土復帰に際して最大の眼

目としているのが車の道路通行方式の改正。沖

繩では現在、左側通行方式が採用されている

が、同庁は本土復帰後は原則として左側通行

に改めねばならぬとしている。ところが、

通行方式を本土並みに改める場合、信号機や

道路標識を全面的に付け替えなければならず、

それには膨大な費用がかかり、また乗用車や

トラックはともかく、現在沖繩で使用されて

いる千二百台の路線、観光、マイクロバスは

構造を大幅に改良しなければならぬ。運輸

省の調査では沖繩の路線バスはほとんどがワ

ンマンカーで、それだけに一台当たり六十万

円の改造費がかかるというわけ、補助金を出す

にしても、二十年以上島民が慣れたまた右側

通行を一挙に改正する必要があるかという問

題が残されている。

オニの課題は沖繩警察の施設と装備。施設

では十二の警察署の建物がすべてに老朽化

化しているほか、那覇署は署長公舎も大きく、

また民家を借り上げている派出所もあり、待

機警、駐在所や警視長など、本土との格

差が目立つている。装備面でも個人装備はほ

ぼゆき渡っているが、捜査、交通、鑑識用車

両や器材、装備でも指揮官車や輸送車、放水

車など絶対量が不足し、部隊活動が満足に行

なえない実情である。

このため、調査団はこの二点を中心に調査

面も含め本土と沖繩の格差を是正する方向で

実情を詳しく調査、結論がまとまらないうちに、来

年度予算に対策費を盛り込みたい方針だが、

道路通行方式の改正にツリこは島民の意見も

十分尊重したうえで結論を沖繩復帰対策協議会

に

結果を平復復旧対策協議会に報告する。

警察庁が沖繩の本土復帰に際して最大の眼目としているのが車の道路通行方式の改正。沖繩では現在、左側通行方式が採用されているが、同庁は本土復帰後は原則として左側通行に改めねばならないとしている。ところが、通行方式を本土並みに改める場合、信号機や道路標識を全面的に付け替えるなければならず、それには膨大な費用がかかり、また乗用車やトラックはともかく、現在沖繩で使用されている千二百台の路線、観光、マイクロバスは構造を大幅に改良しなければならぬ。夏期本省の調査では沖繩の路線バスはほとんどがワンマンカーで、それだけに一台当たり六十万円程度の改造費がかかるというわけ、補助金を出すにしても、二十年以上島民が慣れたきた右側通行を一挙に改正する必要があるかという点も問題が数々残されている。

★二の課題は沖繩警察の施設と整備。施設では十二の警察署の建て物がすでに老朽化しているほか、那覇署は署長公舎もなく、また民家を借り上げている派出所もあり、待機寮、駐在所や警員宿舎なども本土との格差が目立つている。整備面でも個人整備はほぼやり渡っているが、捜査、交通、鑑識用車両や器材、整備でも指揮官車や輸送車、放水車など絶対量が不足し、部隊活動が満足に行えないという実情である。

このため、調査団はこの二点を中心に船子面も含め本土と沖繩の格差を是正する方向で実情を詳しく調査、結論がまとまらないうちに、来年度予算に対策費を盛り込みたい方針だが、道路通行方式の改正に力を入れる島民の意見も十分尊重したうえで結論を沖繩復旧対策協議会に報告する。

米

警察庁が沖繩本土復帰対策協議会に報告する。調査団は六月にスウェーデンが通行方式を全面改正した例があり、二年間の準備期間が充たれば左側通行に切り替えることは可能である。しかし、それにはかなりの費用が必要であり、運輸建設省とも協議しなければならぬ。この点に早急に結論を出せぬ限り、現地の希望も十分考慮しなければならぬ。整備や施設の格差を是正に力を入れる年度から本格的に取り組みたい。

(3)